



▲スタッフ指導のもと体操を行う参加者。参加者に地区の垣根はありません

お互いに助け合う活動の場

まごころサロン

NPO 法人まごころサービス国見センターでは、地域の高齢者の皆さんが気軽に集まり、体操や会話を通してお互いに触れあえる場所を提供するため、「まごころサロン」を開設しています。

『まごころサロン』は、NPO 法人まごころサービス国見センターが施設の一部を開放し、開催しています。月曜日から金曜日の午前中に開催され、居住地区問わず、参加を希望する方たちが集まります。

主な活動は参加者が持ち寄りのお菓子を囲んだ茶話会や、間違い探しやしりとりなどの頭の体操、施設職員やボランティアスタッフの指導のもとでの体操です。

「平成15年の開始以来、一時的に休止したこともありましたが、自然と『また集まりたい』という声が出て再開しました。ボランティアスタッフも含め、取り組みに賛同し、協力してくれる人が増えていきます」と代表の紺野徹さんが笑顔で語ります。

地域とつながる

「絆」はすぐそこに

国見町の「やさえ愛」の輪は、少しずつですが広がりを見せています。地域の皆さんの手によって、各地域に「地域の居場所」が出来上がり、人と人との絆が生まれています。

地域の居場所は、決まったカタチや名前があるものだけではありません。お祭りなどの地域行事や道端での世間話など、地域に住む皆さんが顔を合わせることで、『つながり』を生み、「地域の居場所」が形成されるのです。



▲それぞれが自発的に活動しています

施設利用者や近所の方から、「気軽に集まれる場所が欲しい」という要望があり『まごころサロン』を立ち上げました。これまで無理をして継続しているわけではなく、あくまでも皆さんの要望に応えた結果、皆さんの助けがあり継続できたのだと思っています。

今後は今以上に、地域に根差した取り組みを行っていきたいです。皆さんの要望に応えられるよう常にアンテナを高く張り、皆さんが住みやすい地域を一緒に作っていかたいと思います。このサロンに参加することでお互いに仲間意識を持ち、困ったときに助け合える“共助”の仕組みづくりをしたいと思っています。



紺野 徹 さん

「くにみささえ愛」に参加してみませんか？

『くにみささえ愛』は、地域の皆さんによる“地域づくり”を応援します。

「ありがとう、おたがいさま」と助け合うことができる町を目指し、それぞれの地域にある「支え合い」をみんなで共有し発展させる場です。新たな“地域の居場所”の立ち上げを考えている人や、地域の困りごとを抱えている人など、誰でも自由に参加することができます。

また、令和4年1月より「支え合い」や「居場所」について、希望する町内会で『出前勉強会』を始めます。「地域で支え合いの活動してみたい！」「高齢者が気軽に集まれる居場所があるといいな…」こんな声はありませんか？出前勉強会は国見町の地域の特徴や支え合いについて学び、皆さんが目指す地域について意見交換を行う学習会です。興味のある町内会は事務局までご連絡ください。



福祉課長寿介護係
宍戸 美穂 さん

福祉課長寿介護係 ☎ 585-2125



超高齢化社会へと向かう今、地域が抱える問題は決して「他人事」ではありません。私たち一人ひとりがそれらの問題に正面から向き合う必要があるのではないのでしょうか。

これからずっと、「この国見町に安心して住み続けるために私たちが今、できること、考えてみませんか？」